

このリストは、図書館の職員が、5・6年生のみなさんに
読んでほしい本を選んだものです。

品川図書館	北品川2-32-3	☎3471-4667
二葉図書館	二葉1-4-25	☎3782-2036
荏原図書館	中延1-9-15	☎3784-2557
(荏原図書館は、耐震改修工事のため平成27年7月末まで休館予定)		
南大井図書館	南大井3-7-13	☎3761-6780
源氏前図書館	中延4-14-17	☎3781-6273
ゆたか図書館	豊町1-17-7	☎3785-6677
大井図書館	大井5-19-14	☎3777-7151
五反田図書館	西五反田6-5-1	☎3492-2131
大崎図書館	大崎2-4-8	☎3495-0660
八潮図書館	八潮5-10-27	☎3799-1414

休館日、開館時間などは、各図書館におたずねください。

このリストの表紙絵使用は、各出版社の許諾を得ています。

2014.10発行

よんでみたいな！

5・6年生



「なんちゃってヒーロー」

みうら かれん 作

佐藤 友生 絵

講談社

品川区立図書館

『ともだちは、サティー！』

大塚 篤子 作 タムラ フキコ 絵
小峰書店



夏休み、父と一緒にネパールにやってきたツトム。急きよ、現地の少年と1ヶ月間近く2人っきりで放牧生活をするに？！ 2人と犬2匹、羊5匹、牛15頭で過ごす夏が始まった。言葉は通じず、お互い最初の印象は最悪。一体どうなる2人の共同放牧生活。2人はサティー（ともだち）になれるのか。

『大きい族の小さな少年 マンクル・トログ』

ジャネット・フォクスレイ 作 スティーブ・ウェルズ 絵
鹿田 昌美 訳
小学館

大きい族のマンクルは、大きい族なのに体がとっても小さいのが欠点だ。卒業テストがあるが、なかなかいい成績がとれそうもない。そんな時、マンクルは長老に、王の誕生日の祝賀会で、小さい族の衣装を着て、小さい族のふりをしてくれとお願いされる。マンクルは小さい族がどんな人達かを見に行くが…。



『三本の金の髪の毛 中・東欧のむかしばなし』

松岡 享子 訳 降矢 なな 絵
のら書店



王様の娘と結ばれる運命を持って生まれた青年。

王様の妨害を乗り越え、ついにお城までやってきた青年に、王様は結婚の条件を出します。それは知恵の老人の金の髪の毛を持ち帰ること。青年は、さっそく旅に出かけますが…。

中・東欧の昔話が16編、入っています。

『おばあちゃんは大どろぼう?!』

デイヴィッド・ウォリアムズ 作 三辺 律子 訳
きたむら さとし 絵
小学館

ベンは毎週金曜日、おばあちゃんのところへ、泊まりに行く。でも、おばあちゃんはたいくつで、つまらない。

ところがある日、ベンは、おばあちゃんの家のカッキー缶の中に、ダイヤモンドを見つける。なんと、おばあちゃんは大どろぼうだったのだ?!

それからは、おばあちゃんと過ごすのが楽しくなってきた。



『ひみつの川』

マージョリー・キナン・ローリングズ 文
レオ&ダイアン・ディロン 絵 小島 希里 訳
BL出版



フロリダの果てに、こんもりと木のおいしげった暗い森があります。森の中にはカルパーニアという女の子が住んでいました。父さんは、魚の店をやっていますが、最近魚がとれなくて、困っていました。そんな時、大きな魚がとれるという「ひみつの川」の話を聞きました。

『宇宙犬ハッチー 銀河から来た友だち』

かわせ ひろし 作 杉田 比呂美 絵
岩崎書店

夏休みに入ったばかりのある日、友樹は白い子犬に出会う。子犬は犬ではなく、なんと悪い犯人を追う銀河連合捜査局の捜査官助手だった。犯人に宇宙船を壊されてしまい、地球に不時着したのだった。

救助がくるまでの間、宇宙犬ハッチーは、友樹の家に居候することになるが…。



『がむしゃら落語』

赤羽 じゅんこ 作 きむら よしお 画
福音館書店



小学校5年生の雄馬は、いじわるトリオにからまれた時、落語家の笑八に助けられるが、そのため学校の特技発表会で、落語を一席やることになってしまう。

雄馬は笑八に弟子入りをさせてもらうが、笑八の教え方はかたやぶりで、へんでこだった。そのうえ笑八と仲たがいをしてしまう。発表会はせまって来るし、さあ、どうする？

『うちは精肉店』

本橋 成一 写真と文
農文協

私たちが普段食べているお肉は、どこでどのようにしてお店に出荷されるのでしょうか。

この本は2011年に閉鎖された大阪府貝塚市の北出精肉店の最後の屠畜（食肉用の家畜を肉にすること）を記録した写真絵本です。



『なんちゃってヒーロー』

みうら かれん 作 佐藤 友生 絵
講談社



「将来の夢なんかない」と思っていた小学5年生の蒲生は、大怪獣が暴れまわる夢がもう授業中に見たことがきっかけで思い出した。小さいころの夢が「ヒーロー」だったこと！

図工が得意な相棒チューリンと、個性ゆたかな仲間たちを巻き込んで、ガモ一組のヒーローX作りが始まった！

『ランドセルは海を越えて』

内堀 タケシ 写真・文
ポプラ社

黒に赤、ピンクや水色。日本にはいろいろなランドセルがある。他の国ではどうだろう。

日本のみんなが使い終わったランドセルを、アフガニスタンへと送る活動がある。今度はどんな子たちが使うのだろう。海を越えたランドセル、その行方を追ってみよう！



『おどろきのスズメバチ』

中村 雅雄 作
講談社



私達は、スズメバチと聞くと「刺されると死ぬ危険性」があるということで、怖がります。そんなスズメバチは、女王バチでも1年、働きバチは30日で一生を終えてしまいます。

スズメバチは、それぞれ役割を持っています。働きバチだけでなく、最後を一人で迎える女王バチの姿も分かります。

『だれにも言えない約束』

ジーン・ブッカー 作 岡本 さゆり 訳 中山 成子 絵
文研出版

舞台は第二次世界大戦中のイギリス。

12歳の女の子エレンは、ドイツ軍の爆撃におびえながらも、普通の学校生活を送っていた。

しかしある日、エレンの街で空襲があり、エレンは逃げる途中で見つけた小屋へ避難すると、そこで敵であるドイツ軍の若い兵士と出会ってしまう。

エレンに待ち受けているものは…。

